

サクランボ特報

No. 1

令和4年3月17日
JA中野市営農センター
JA中野市サクランボ部会

毎日のお仕事お疲れ様です。晴れるとあたたかな気温になることもありますがまだまだ雪が多く、気温が低い状態が続いています。作業を行う際はケガ等にご注意ください。

今後、気温上昇に伴い融雪が進んでくると予想されます。気象情報に十分注意し、生育状況をよく確認して早めの防除に努めましょう。

また、栽培日誌を配布いたしますので本年も記帳・早めの提出にご協力ください。

(平岡)

佐藤錦	平年	R4	R3	R2	R1	H30	H29
発芽日	4/3	4/4?	3/29	3/31	4/6	4/1	4/7

＊発芽前の防除

散布時期：発芽前（3月下旬）

散布薬剤 水 98ℓ 当り

スプレーオイル 2ℓ

アプロードフロアブル 100 ml

散布日 月 日

散布量 ℓ

対象病害虫：カイガラムシ類、ハダニ類

散布量：10a当り 300ℓ

＊胴枯病対策：発芽前に、石灰硫黄合剤の10倍を単用散布する。

石灰硫黄合剤は、隣接する園地やハウスビニールにかからないよう注意する。

また、他の薬剤と混用せず、単用散布とする。

＊胴枯病の枝は切り取り焼却する。部分的な場合は削り取り、トップジンMペーストを塗布する。

＊コスカシバ対策 薬剤散布による防除を行なう場合は、下記のいずれかを実施する。

①発芽前に(製)ラビキラー乳剤200倍（発芽前、1回）を樹幹部および主枝に散布する。

②開花期までに、フェニックスフロアブルの500倍（開花期まで、1回）を樹幹部および主枝に散布する。（10a当り散布量目安5～40ℓ）

＊凍害対策

3月中旬～下旬の花芽が膨らみ始めた頃から開花期まで、低温遭遇時（-3℃以下）の花器障害が心配されますので、園内の保温（燃焼資材の利用、加温設備のある園地では加温機の使用等）により対策を講じて下さい。

次回特報発行予定日：4月初旬

内容：開花前の薬剤散布 他